



ARTIST SUPPORT

ショパン・コンクール・ピリオド楽器プロジェクト

“ショパンが生きた時代の音色”の再現のために!

公演:2024年1月30日(火)19:00開演 東京オペラシティ コンサートホール



世界的ピアニストを輩出する<ショパン国際ピアノコンクール>に、もう一つのコンクールがあることをご存知ですか?ショパンが生きた1800年代に演奏された楽器(ピリオド楽器と総称されます)を用いて実施されるもので、ショパンが聴いて、弾いて、作曲した時代の感性までもが奏でられ、評価されるコンクールです。

この<ショパン国際ピリオド楽器コンクール>の優勝者が、2024年1月に東京で公演を行います。会場には、1843年製の”プレイエル・ピアノ”が特別に持ち込まれ、“**ショパンが生きた時代の音色**”が再現されます。ただ特別な楽器のため、慎重な取り扱いが求められるとともに、調律を頻繁に行う必要があるなど、実施には通常のピアノを使用するのに比べ100万円以上もの追加費用がかかります。

“もう一人の主演”とも言える特別な楽器の使用を、皆さまにご支援いただけましたら幸いです。

【1】 一口:5,000円 *公演チケットは別途お求めください。

ご芳名を、当社ホームページ、公演プログラムに掲載いたします。

②終演後、公演レポートを送りいたします。

【2】お客様情報をご記入ください。

ふりがな		HPおよび公演プログラムへのご芳名記載
ご芳名		<input type="checkbox"/> 希望する → <input type="checkbox"/> 氏名 <input type="checkbox"/> イニシャル <input type="checkbox"/> 希望しない
お申込み	() <input type="checkbox"/> *一口:5,000円	*任意の金額の場合: 円
ご住所	〒	
電話番号		
メールアドレス		お申込み日: 月 日

【3】お支払方法をお選びください。

◇ 銀行振込 ※お振込み手数料はご負担ください。

三井住友銀行 赤坂支店 当座 6564969 株式会社ジャパン・アーツ

◇ クレジットカード決済

ホームページ (<https://www.japanarts.co.jp/artistsupport/>) をご覧いただき、お手続きください。



第2回ショパン国際ピリオド楽器コンクールとは

開催日程：2023年10月5日～15日

ポーランド国立ショパン研究所は、世界的ピアニストを輩出する<ショパン国際ピアノコンクール>とともに、2018年から<ショパン国際ピリオド楽器コンクール>を開催しています。

ショパンの音楽を、彼が生きた時代のピアノで演奏することの意義を広く世界に伝えるもので、“もう一つのショパンコンクール”と言われ、注目されています。

このコンクールでは、ショパン研究所が所蔵する1800年代初期から中期のピアノが使用されます。ショパンが生きた時代のピアノ、中にはショパン自身が演奏したと言われる楽器もあり、演奏者とともに楽器も主役になるコンクールです。



2024年1月30日公演で使用される ピアノ・プロフィール

プレイエル（1843年製）

マホガニーケース

製造番号No.10456 長さ205cm

タカギクラヴィア所有

2018年度ショパン国際ピリオド楽器コンクール認定楽器

ピリオド楽器は構造的に強度が十分でなく華奢なため、コンサートで演奏できる楽器は多くありません。

そのような中、このNo. 10456は、ほぼオリジナル状態を保つ貴重な楽器です。

古典的なウィーン式アクションが改良されたもので、

鍵盤の先に弦をたたくハンマーが取り付けられているという単純な構造のため、繊細な表現を伝えやすくなっています。

鍵盤は軽く、柔らかい音色を特徴とし、特にピアノシモでの音色の変化が美しいピアノです。